

9月29日（火）



小羽山小学校では、ノートの作り方にも力を入れています。昨日は、1・2年生がお互いのノートの内容について、見合う時間を取りました。低学年なので、丁寧な字で書いてあるか、線がまっすぐに引けているかなどを見合いました。まずは丁寧に書きうつすことが目標ですが、だんだんに学習に活かすノートに成長していきます。

高学年では、自分の考えを書きこんだり、わかりやすく図示したりするなどの工夫が生まれてきます。明日は、高学年のノート鑑賞会が予定されています。



中学年は、文化芸術鑑賞・体験推進事業の一環として、ゲストの方に来ていただき、歌や楽器の演奏を聞かせていただきました。中でもスイスから来られた方によるフルックスという楽器は、不思議な音色でした。直接楽器には触れないのに音が出るという不思議な演奏法に、子どもたちは興味津々でした。貴重な体験をさせていただきました。皆様、ありがとうございました。



5年生は、たくさんの場を設けて、抱え込み跳びに挑戦していました。ついつい条件反射のように踏み切ると、脚が開いてしまう人も……。お互いに安全を確認し合いながら、安心してチャレンジできる場で練習をしていました。



6年生のマット運動の表現（シンクロマットという名前だそうです）もだんだん形になってきました。実際にやってみることはもちろんのこと、話し合いも大切にしています。イメージ通りに体を動かすというのは、思った以上に難しいものです。どのように見えるのかも意識しながら、練習が進んでいました。

